

I 平成 30 年度一般社団法人美しい伊豆創造センター事業計画

○伊豆半島観光戦略策定及び推進事業

1. 事業概要

伊豆半島観光戦略策定及び推進事業については、組織として基本となる目標であるため、平成 29 年度に引き続き事業の戦略の策定及び推進を図る。

特に観光戦略については、マーケティングを民間事業者に依頼し、観光客の視点による分析を行い、数値として目に見えるものとする。

併せて、計画を策定し推進していく中で、観光事業に関わる人材の育成は重要となることから、旅行商品の造成事業を主とした研修を開催し、伊豆半島の観光事業の推進を図る。

2. 事業目的

伊豆半島の地域振興を図るための企画・調整・立案を行う上で、基本となる観光戦略を策定し、組織として目標を定める。

併せて、地域振興を図る人材育成を行う。

3. 事業効果

伊豆半島観光戦略策定及び推進事業で、観光事業全体の目標とする数値を示すことができる。

併せて、伊豆半島地域の観光事業の将来を担う人材育成を行うことで雇用の促進及び観光産業に関わる従事者の質を向上し、よりよい観光地となることを促進できる。

4. 事業内容

- ・伊豆半島観光戦略の策定（基本戦略をふまえたアクションプラン等の策定）
- ・平成 29 年度に策定した内容を元に具体的な推進項目を作成
- ・観光事業の中核人材育成の研修会の実施

○国内観光キャンペーン事業（静岡DC推進事業）

1. 事業概要

伊豆の主要マーケットである、東京や横浜といった首都圏や静岡市などでの観光キャンペーンの開催、またツーリズムEXPOジャパン等の大型観光展に出展し、地域外へ伊豆の魅力をPRする。

特に本年は静岡DCのプレ期間であり、平成31年度の本番、平成32年度のアフターと続く静岡DCの始まりを告げる年となることから、静岡DCのプロモーションを全てのキャンペーン事業へ関連付けて実施する。

また、本年4月には伊豆半島ジオパークの世界ジオパーク認定が見込まれ、さらには2020年の東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技が、伊豆市に加え静岡県東部で開催されるなど、世界的に伊豆半島地域に注目が集まることが想定されるため、ジオパーク推進協議会等と連携を取りながら、ジオサイト等を活用した伊豆地域外からの誘客推進も図る。

2. 事業目的

市町個別での点ではなく、伊豆半島全体を面と捉え、自然・食・文化といった地域の豊かな観光素材を外へ発信していくことで、地域全体の観光来遊客数の増加を図る。

静岡DCについては、JR各社・静岡県・観光関連事業者等と協同し、伊豆半島全体の気運の醸成を図り、未だ知られていない新たな伊豆の魅力を地域外へ発信していくことで、継続した観光来遊客数の増加へつなげていく。

特にジオパークや東京オリンピック・パラリンピックなど、世界的な注目の集まるイベントについては、国内誘客のみならずインバウンド事業との連携を図りながら、海外からの来遊客数の増加も目指す。

3. 事業効果

伊豆半島全体を面と捉えた広域の観光PRを実施することで、観光客を地域全体に周遊させることができる。

JRグループ最大の観光キャンペーンであるDCを起爆剤とし、地域全体で新たな伊豆半島の魅力の発見・創出へ取り組みプロモーションをしていき、DC終了後にも継続した観光来遊客数の増加につなげていくことができる。

また、静岡DCをきっかけに創出された伊豆半島の新たな魅力を、世界的なイベントに合わせ国内・海外に向けて効果的に情報発信をすることができる。

4. 事業内容

- ・静岡DCでの伊豆半島誘客の推進
- ・静岡DC全国宣伝販売促進会議（5月15日）
- ・静岡DCエクスカーショョン（5月16日、17日）
- ・ツーリズムEXPOジャパン等への出展
- ・上野駅伊豆産直市への出展
- ・JRグループの大型駅での観光キャンペーンの開催
- ・伊豆総合パンフレット、ノベルティ、ポスター等の作成
- ・ジオサイトを活用した新たな観光商品の創出とPR等
- ・東京オリンピック・パラリンピックへ向けた来遊客の誘致

○インバウンド（外国人観光客等誘客）事業

1. 事業概要

伊豆地域を外国にPRするにあたり、市町単独・単発での観光プロモーションを行っているが、広域的にプロモーションをすることで、伊豆半島全体の認知度が上がる。

外国人観光客にとって行政区割りより、観光地としての魅力を伝えるためにも、スケールメリットを考えて事業を推進していくことで、インバウンドの増加を図る。

2. 事業目的

伊豆地域への訪日旅行者数を増加させていくため、観光プロモーションや観光展を通して、魅力と素材を効果的にPRし、多くの外国人が訪問することで、地域活性化を促進する。

3. 事業効果

本事業によって得た知見を会員に伝え、受け入れ態勢の強化を図り、伊豆の特色を活かす事業展開につなげていく。

さらに、伊豆地域の関連旅行商品が造成され、諸外国のニーズにあったものができることで、伊豆を訪れる多くの観光客が見込める。

4. 事業内容

- ・台湾及びタイでの観光展の出展事業
- ・ファムトリップの実施（TSJとの連携 欧米等）
- ・トップセールス・エージェント訪問の実施
- ・新規開拓のプロモーション事業